



The late Dr. Masaji Honda (1897-1984).

#### □ 本田正次博士 Dr. Masaji HONDA 1897-1984

東京大学名誉教授本田正次先生はかねて病氣加療中でしたが、去る7月1日肺炎を併発され逝去されました。享年87歳でした。

先生は明治30年1月熊本で生まれ、熊本の第五高等学校を経て、大正10年東京帝国大学理学部植物学教室を卒業されました。大学に残ってイネ科植物の分類を専攻され、昭和5年、日本・朝鮮・台湾・樺太のイネ科植物全体をまとめ、*Monographia Poacearum Japonicarum* の題で117属472種を記述した種属誌を発表されました。それまで分類が困難であった日本のイネ科植物の基礎を作ったものです。昭和14年には「日本植物名彙」をだされ、日本に産する維管束植物の正しい学名と和名を集録しました。これは先生の恩師である松村任三先生の「植物名彙」の後をついだもので、当時としては日本の植物の最もまとまった目録でした。昭和32年と38年に改訂版が出されています。

先生が後半半力をそそがれたのは、自然保護と植物愛好家の指導でした。三好・中井先生の後を継いで史蹟名勝天然記念物調査委員、文化財専門審議会委員を長くつとめて

貴重な植物の保護に努力され、その結果は昭和32年、東京大学の退官記念として出版された「植物文化財」にまとめられています。また日本自然保護協会の設立に尽力されると同時に、尾瀬原湿原の保存、日光杉並木の保護などに大きな成果をあげられました。

永年にわたり地方の植物学者の指導にあたりと共に、植物友の会会長や武蔵野文化協会理事長を長くつとめ、また多くの一般向の著書を出すなどとして、植物分類学の普及に努力されてきました。先生の晩年の活動は殆んどこれに費されています。自然をこよなく愛された気持が、次第に先生をこのような活動に導いたのだらうと思います。ここに先生の御業績をしのびつつ、謹んで御冥福を御祈り申し上げます。 (山崎 敬)

---

□飯沼愼齋生誕二百年記念会誌編集委員会(編)：飯沼愼齋 513頁。1984。飯沼愼齋生誕二百年記念事業会。はじめに8葉にわたる23図の図説がある。第1図はこのたび見出された愼齋翁の写真による肖像であり、今まで疑義のあったものとは異なり真正正銘の愼齋像である。この他の図版は記念碑、平林荘、関連洋書、愼齋の図書、標本、手書きの図及び墨書である。「飯沼愼齋の生涯」の記事につづき、記念論文はI. 飯沼愼齋と植物学(12編)、II. 飯沼愼齋と蘭学医学(3編)、III. 飯沼愼齋と本草(4編)、IV. 飯沼愼齋と化学(2編)、V. 飯沼愼齋と人(6編)、ついで資料編には著作目録や腊葉目録、関連家系図、年譜と充実している。この書の出版への努力が多くの新資料の発見、新しい研究を生んだ。この書の出版により、今後の新資料の発見、新研究が期待される。執筆者及び、記念事業会を推進された愼齋研究会の諸氏に感謝の念を捧げたい。飯沼愼齋生誕二百年記念については、すでに本誌59巻3号96頁に報告した。予定の如く本年5月27日、大垣市文化会館において行われた記念式には約140名が出席、盛大であった。なお式典会場外では5月26日から6月3日にわたり、大垣市と市教育委員会主催の「飯沼愼齋展」が開かれ、貴重な資料150点が出品された。またこの機会に飯沼愼齋解剖之地碑、飯沼愼齋邸跡碑が本年完成され、除幕式が行われたことはめでたい。記念事業会の募金は464件、総額6,660,000円、募金の応募者には本書が式典で手渡され、又は後に郵送されたが、本書を新たに求められた方は残部若干を1冊送料共6,000円で郵送するとのことである。〒502 岐阜市三田洞東 5-6-1 岐阜薬科大学内 愼齋研究会(電話 0582-37-3931)に連絡されたい。(木村陽二郎)